

令和8年度

北九州市高齢者支援と介護の質の向上推進会議

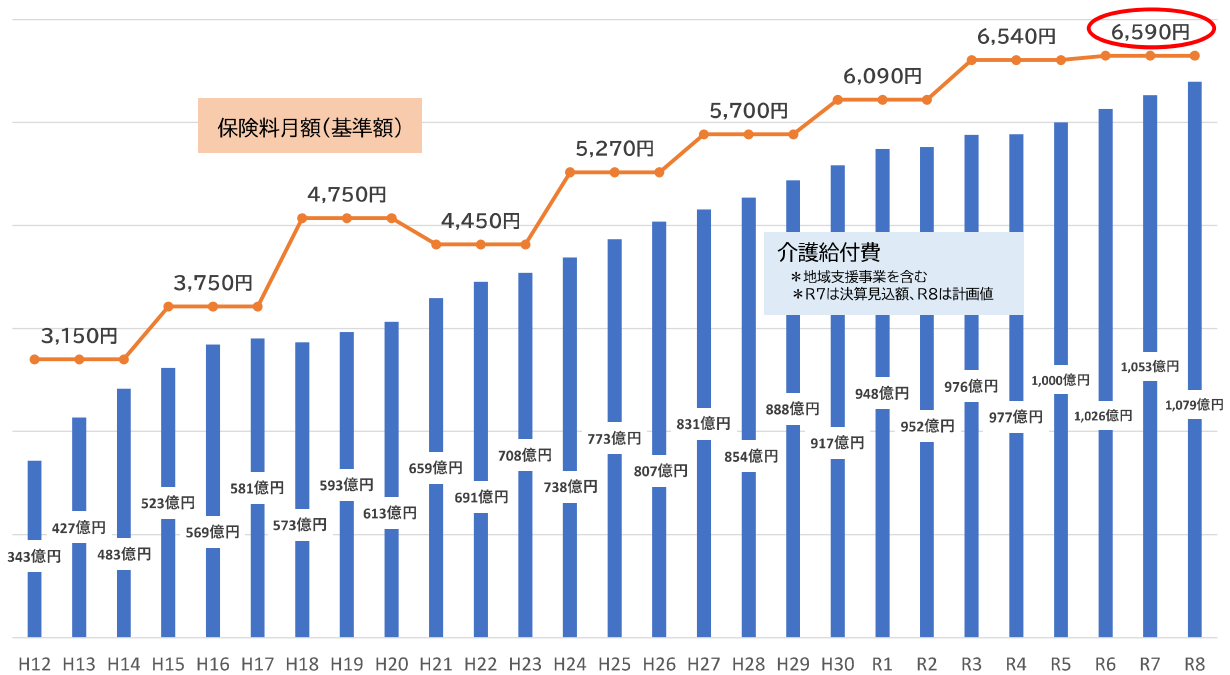
第1回 介護保険に関する会議

4 議題

(2)北九州市の介護保険の実施状況について

北九州市の介護給付費と保険料額

- ・介護給付費は、介護サービス利用者の増加により、今後も増加の見込み。
- ・介護保険料月額、制度創設時から**約2.1倍**に。

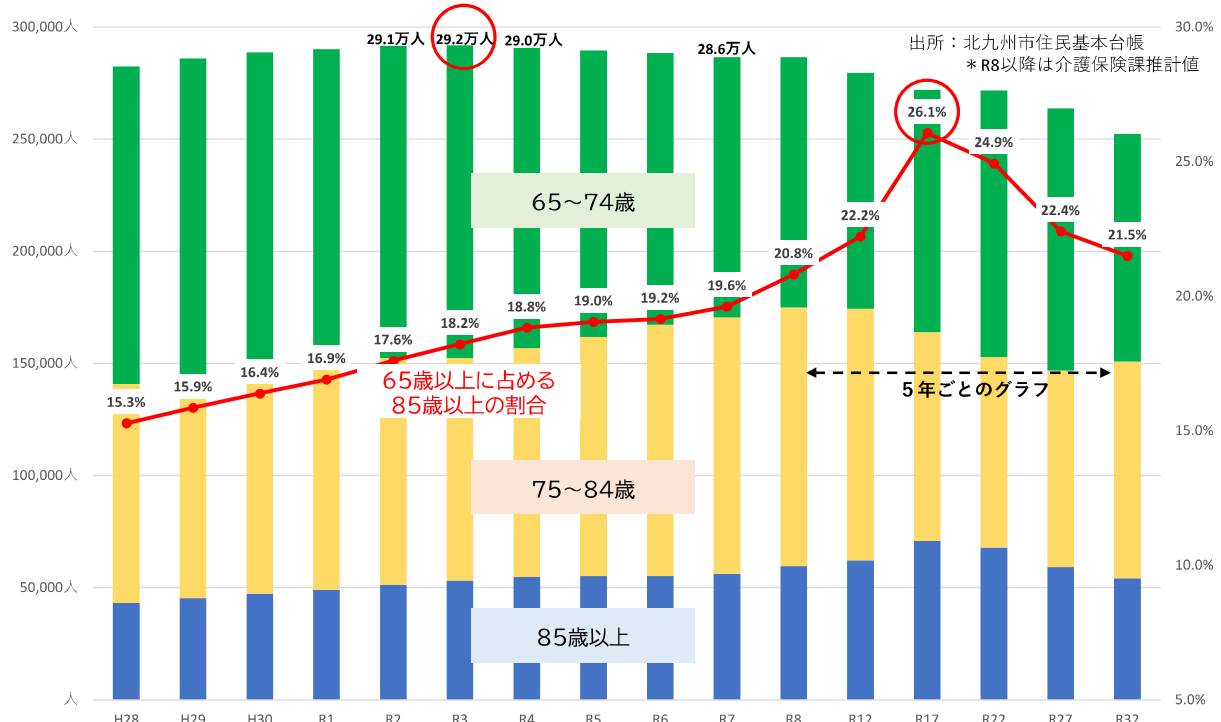


出所：北九州市介護保険課統計

1

北九州市の高齢者人口

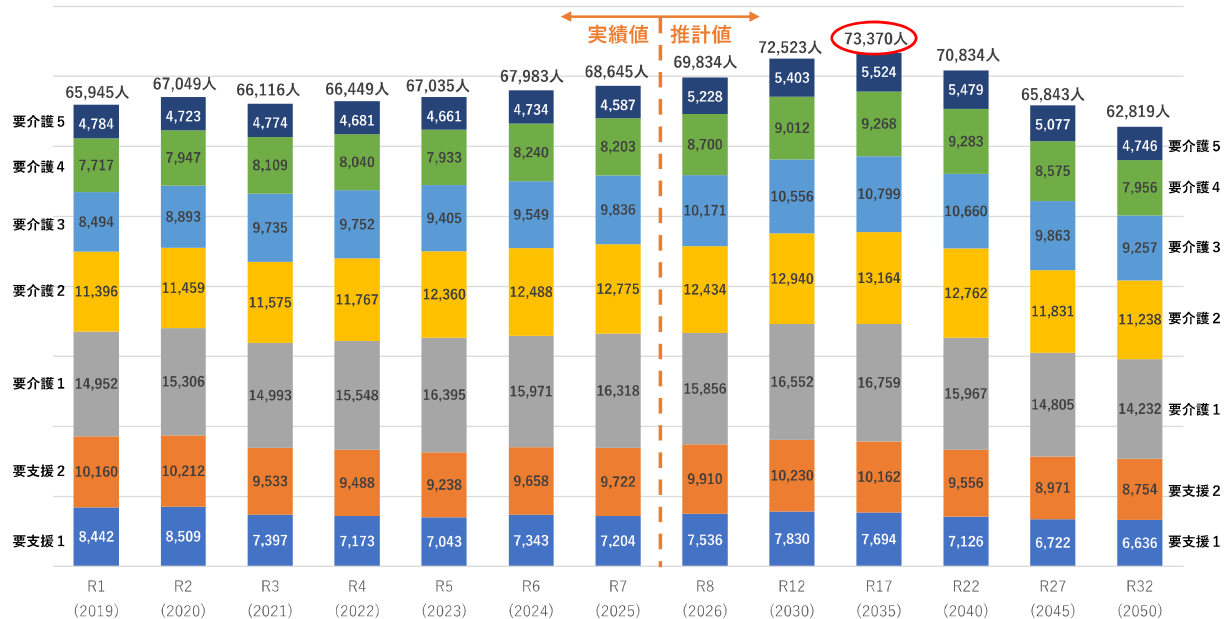
- ・65歳以上の高齢者は、令和3年の29万2千人をピークに、その後は減少。
- ・75歳以上の後期高齢者は、その後も増加を続け、なかでも85歳以上は、令和17年に7万1千人となりピークを迎える見込み。



2

北九州市の要介護（要支援）認定者数【第1号被保険者】

- ・北九州市の要介護等認定者数は、今後も緩やかに増加を続け、令和17年（2035年）頃にピークを迎え、約7万3千人となる見込み。



【出所】北九州市介護保険課統計
 * 令和7年度までは実績値
 * 令和8年度以降は推計値

3

第9期北九州市介護保険事業計画 令和7年度 進捗状況(計画・実績対比)

	計画値	実績値	計画比
第1号被保険者(65歳以上)			
被保険者数	288,062人	287,087人	99.7%
要介護等認定者数	69,092人	67,253人	97.3%
介護サービス受給者数(月平均)			
在宅サービス	35,250人	35,536人	100.8%
居住系サービス	4,692人	4,832人	103.0%
施設サービス	8,980人	8,906人	99.2%
介護保険事業費			
保険給付費等	1,017億円	1,009億円	99.2%

* 保険給付費等の実績は見込み値

出典：介護保険事業状況報告（月報）

4

高齢者福祉施設等の整備状況について

1 高齢者福祉施設等の整備状況

(1) 第9期までの整備状況

種 別	R5年度末	第9期 整備目標(A)	R8年度末 (B)	増減 (B-A)	入所率
特別養護老人ホーム【地域密着型特養を含む】	5,574 床	5,603床	5,533床	▲70 床	89.4%
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	2,280 床	2,406 床	2,280 床	▲126 床	94.3%
介護老人保健施設	2,770 床	2,770 床	2,770 床	0 床	85.9%
介護医療院	644床	644床	644床	0 床	92.7%
特定施設入居者生活介護	3,047 床	3,204 床	3,087床	▲117 床	88.9%
地域密着型サービス(施設・居住系除く)					
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	18か所	21か所	23か所	2 か所	
小規模多機能型居宅介護	46か所	46か所	42か所	▲4 か所	
看護小規模多機能型居宅介護	3 か所	6か所	3か所	▲3 か所	

※ R8年度末には開設予定のものも含む

※ 入所率は令和8年4月1日現在

【参考:第9期公募の応募状況及び選定結果】

募集施設	募集数	応募数	選定数
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	45床	1事業所(18床)	1事業所(18床)
特定施設入居者生活介護【広域型】	80床	2事業所(160床)	1事業所(80床)
特定施設入居者生活介護【地域密着型】	48床	1事業所(29 床)	1事業所(29床)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3事業所	1事業所	1事業所
小規模多機能型居宅介護	1事業所	0事業所	0事業所
看護小規模多機能型居宅介護	3事業所	1事業所	1事業所

※ 特定施設入居者生活介護【地域密着型】は選定後辞退

(2) 高齢者向け住まいの設置状況

種 別	R5年4月	R8年4月	増減	入居率 ※参考
養護老人ホーム、軽費老人ホーム、ケアハウス等	1,396 床	1,396 床	0床	92.3%
住宅型有料老人ホーム	5,485 床	6,364 床	879 床	82.8%
サービス付き高齢者向け住宅	1,399 床	1,306 床	▲93 床	90.3%

※ 届出があった施設についての入居率

2 整備目標設定の基本的な考え方

- 団塊の世代が 85 歳以上となる 2035 年、いわゆる団塊ジュニア世代が 65 歳以上となる2040年を見据えた中長期的な介護サービス見込量の推計や、介護と医療の複合ニーズを抱える高齢者、認知症高齢者、ひとり暮らし高齢者等の増加等を踏まえ、高齢者が要介護状態となっても、それぞれの状態に応じて、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、本市の実情に応じた介護サービス提供体制の確保に努めるとともに、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。
- 今後の高齢化の推移、市民ニーズ、既存施設の整備状況、待機者の状況、高齢者向け住まいの設置状況、医療と介護連携の状況等を踏まえながら、給付と負担のバランスにも留意し、様々な状況の変化に応じて柔軟な支援・サービスが提供できるよう、在宅サービスや地域密着型サービス等も含めた広い視点で必要なサービスの検討を行い、適切な整備量を設定する。

第 10 期計画に係る国の基本指針の基本的な考え方(施設整備関係)

○ 介護サービス提供体制の計画的な整備

① 地域の実情に応じたサービス提供体制の整備

- ・ 令和6年度～令和8年度の介護給付等の実績を踏まえつつ、地域の中長期的な人口動態や介護ニーズの見込み等を適切に捉え、第 10 期計画における施設サービス、居住系サービス、地域密着型サービスをバランスよく組み合わせ、介護サービス提供体制を計画的に確保していく必要がある。
- ・ 医療・介護双方のニーズを有する高齢者のサービス需要や在宅医療の整備状況を踏まえ、医療・介護の連携を強化し、医療及び介護の効率的かつ効果的な提供を図ることも重要である。

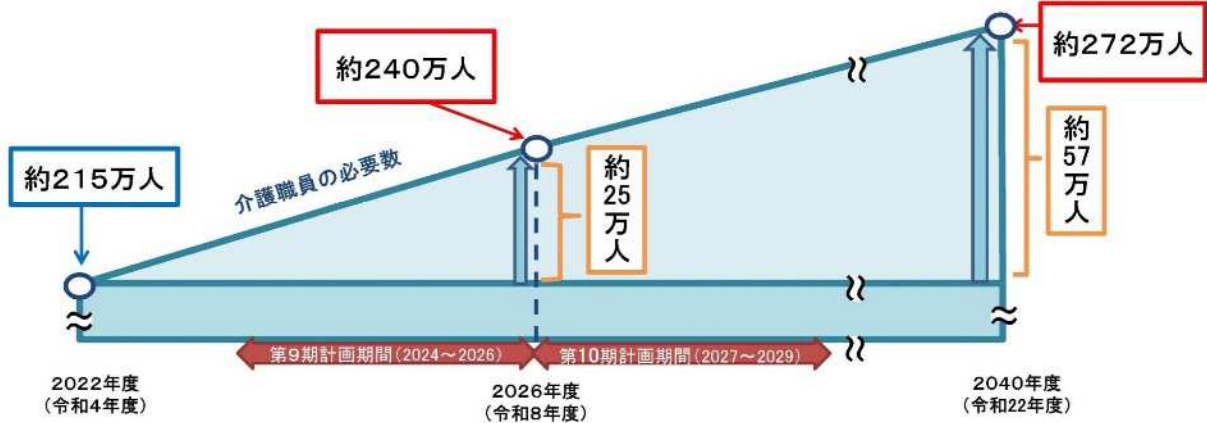
② 在宅サービスの充実

- ・ 居宅要介護者の在宅生活を支えるための定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護等の地域密着型について、引き続き、地域の実情に応じて、普及を検討し、整備に取り組むことが重要である。
- ・ 中山間・人口減少地域におけるサービス提供体制の確保を図るため、特例介護サービスの新たな類型を創設することを検討している。

※ 介護サービスの基盤整備にあたり、有料老人ホーム等の高齢者向け住まいの入居定員総数等の状況を勘案

介護職員の必要数（R6.7.12 厚労省公表）

- 第9期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護職員の必要数を集計すると、
 - ・ 2026年度には約240万人（+約25万人（6.3万人/年））
 - ・ 2040年度には約272万人（+約57万人（3.2万人/年））となった。 ※（）内は2022年度（約215万人）比
- 国においては、①介護職員の処遇改善、②多様な人材の確保・育成、③離職防止・定着促進・生産性向上、④介護職の魅力向上、⑤外国人材の受入環境整備など総合的な介護人材確保対策に取り組む。



別紙5 「都道府県別」 を当課独自集計	2022年度	2026年度		2040年度	
	介護職員数	介護職員必要数	現状推移見込み	介護職員必要数	現状推移見込み
全国計	2,154,498人	2,402,433人	2,180,120人	2,722,313人	2,106,023人
		現状推移見込みとの差▲222,313人 充足率90.7%		現状推移見込みとの差▲616,290人 充足率77.4%	

出典：R06.07.12公表 厚生労働省「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」

7

介護職員の必要数（福岡県推計を基に、北九州市分を独自推計）

	2022年度	2026年度		2040年度	
	介護職員数	介護職員必要数	現状推移見込み	介護職員必要数	現状推移見込み
福岡県	86,049人	94,458人	87,009人	110,072人	90,343人
		現状推移見込みとの差▲7,449人 充足率92.1%		現状推移見込みとの差▲19,729人 充足率82.1%	

出典：R06.07.12公表 厚生労働省「第9期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」別紙5 都道府県別

※令和4年度の数値は厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

※令和4年度の数値、必要数、現状推移を見込んだ介護職員数の値は、介護予防・日常生活支援総合事業のうち
従前の介護予防訪問介護等に相当するサービスに従事する介護職員を含む

【独自推計】

	2022年度	2026年度		2040年度	
	介護職員数	介護職員必要数	現状推移見込み	介護職員必要数	現状推移見込み
北九州市	17,397人	19,097人	17,591人	22,254人	18,265人
		現状推移見込みとの差▲1,506人 充足率92.1%		現状推移見込みとの差▲3,989人 充足率82.1%	

推計方法：令和4年度「介護サービス施設・事業所調査」による福岡県の介護職員数 及び 同調査による
事業所数（都道府県のほか政令市・中核市も調査結果あり）に基づき、介護保険課において独自推計

8